



**11月議会
個人質問から**

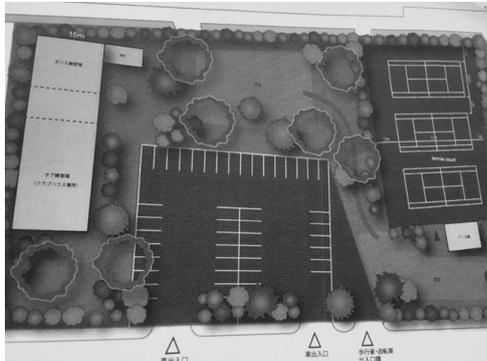


1. 東区の諸課題について

●区計画に「住み続けたい」を位置づけさせる

東区は、4つの区の中で唯一、人口減少が始まっています。竹永議員は今回の質問で「人口減少を食い止め、少なくとも現状維持をはかるために、移住定住など他分野と連携することを計画の中に位置付けるべき」と訴えました。市は「人口減少は、東区だけでなく市全体の問題であり、分野別計画に位置付けたい」と答弁。竹永議員が「そのためにも公共交通のネットワーク化も急務だ」と指摘したことなどを受けて、東区の計画には「現状維持」という文言が入ることや、区のテーマ

に「住み続けたい」ということが位置付けられることとなりました。



▲北(写真右方)にテニスコートなど(イメージ)

●旧区役所跡地は森学園に売却

東区役所等跡地公募事業は、ホールとテニスコート3つという内容で森教育学園に決定しました。(写真左)

「将来的に東区の活性化になりうる事業の中身なのか？」との竹永議員の質問に、「今後事業化するにあたり、公募事業者と地元の要望も含め協議する」との答弁でした。

2. 子どもの貧困対策について

竹永議員は、第2期岡山市教育振興計画で貧困問題が全く触れられてないことについて、「自立する子どもの育成をと言いながら、そのスタートラインにさえ着けない子どもたちに目を向けていない」と厳しく指摘しました。教育長は「あくまで教育理念なので、個別具体のことは掲げにくい」と答えましたが、なんらかの形で加える方向を示しました。

また、市として独自の貧困率を出せないとする中で、データ分析の指標を提案したのに対し、岡山っ子育成局長は「参考にしたい」と答えました。

具体的対策として、就学援助の新入学学用品費用の前倒し支給や、給付型の奨学金の実現を求めたのに対しては前向き答弁が得られず、市として、子どもの貧困対策に取り組む本気の姿勢が感じられません。



▲JR山陽本線を潜る計画(イメージ)

赤穂線に新道路340億円

岡山赤穂線の鉄道交差部(岡山市の北)に。市負担は10年で110億円。厳しいチェックが必要。

生活・法律相談しています。

<p>西大寺中野の党事務所 ☎086-942-1780</p> <p>コープ西大寺診療所 ☎086-944-0088</p> <p>上道の党事務所 ☎086-297-9515</p>	<p>毎週月曜日 生活相談 午後8時半～ 第三月曜日 法律相談 午後6時～ (弁護士もきます)</p> <p>第四水曜日 午後6時半～(要予約)</p> <p>第二水曜日 午後6時半～</p>
--	--

* 議会の日程の関係で急に中止になる場合もありますので事前にお電話を!